



「～全英への道～ミズノオープン at ザ・ロイヤルゴルフクラブ」は、日本ゴルフツアー公認の男子プロゴルフトーナメントであり、世界4大ゴルフトーナメントの1つでもある「全英オープン」への出場権が上位選手へ与えられる大会でもあります。1971年から開催されているこの歴史的な大会で、弊社のドローンで空撮・作成した3Dデータが、読売テレビ放送様で放送されました。2018年5月27日18番ホールの解説用データとして採用いただきました。

#### 導入背景：

中継カメラでは、ゴルフコースの細かいアンジュレーションを十分に表現できない場合があります、そのため精度の高い3Dデータが必要でした。

エアロセンスを選んだ理由は、ZMPとソニーの技術が搭載された国産のドローンであり信頼できること、サンプル画像や使用実績及び視察でのご説明により精度の高さが理解できたこと、クラウドによる製作期間が短かったこと、価格に納得できたことです。

エアロセンス：当日の空撮ではAEROBOマーカーを設置し、オーバーラップ率と高度を工夫することで、空撮当日の天候条件を乗り越えるアンジュレーションが表現できるように工夫いたしました。

AEROBOマーカーの詳細は下記URLをご参照ください。

<https://static1.squarespace.com/static/55a4ca22e4b031d979abee34/t/5b0f9ab01ae6cfea0d94c548/1527749465715/AEROBOmarker.pdf>

#### 導入後の効果：

これまでにない繊細なゴルフコースの表現ができたことで、選手目線のコース戦略をより分かりやすく視聴者の皆様にお伝えできたことです。

エアロセンス：読売テレビ様はゴルフ中継の実績を多数お持ちの中、ドローンによる空撮データを使用される初の試みを光栄にも弊社にいただきました。

#### エアロセンスから読売テレビ様へ：

当日は雨が降り出す直前の曇天、飛行可能範囲ギリギリの強風の中で空撮となりました。このため、お渡しする写真データは求める解像度に届いておりませんが、3D制作の映像プロである皆様にテクスチャの補正などZ軸方向の表現など、映像のプロではない我々エアロセンスに多大なご支援をいただきましたことを改めて御礼申し上げます。

今後はアンジュレーションがより分かるデータの作成など必要な技術を磨きながら、表現するコースで何が重要とされているか、空撮範囲に含む対象物、天候条件とお渡しできるデータ解像度などを番組制作スタッフの皆様と念入りに打合せさせていただき、お客様のお役に立てるよう精進してまいります。

